**事業実施計画書**

|  |  |
| --- | --- |
| 助成の種類 | 一般助成 |
| 特別助成（大阪文化力向上支援　上方古典芸能普及発展支援　多様な人々が参加できる芸術活動支援） |
| 芸術活動の分野 | 演劇　邦楽　邦舞　洋楽　洋舞　古典芸能　大衆芸能　美術　映画 |
| 芸術活動の種類 | 公演　展覧会　ワークショップ　芸術祭（映画祭を含む）、アートプロジェクト |
| シンポジウム※　アーカイブ制作※　※については、特別助成のみ申請できます。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 助成対象事業名 | 新しい日常に発信するコンサート　Nuevo Concierto Diario Fiesta!! | | |
| 団体及び個人名 | 株式会社プラスミュージック | | |
| 共催： | | |
| 会場名 | アルディエンテ | | |
| 会場所在地 | 〒532-0023  大阪市淀川区十三東3-28-16-B1F | | |
| 実施期日 | 公演期間：令和６年２月２５日（日）～令和６年２月２５日（日）  （搬入設営２月２４日、リハーサル（ゲネプロ）：２月２４日、搬出撤去：２月２５日） | | |
| 実施回数 | １　回 | | |
| 入場予定者数 | 有料入場者数（配信を含む）：150名  無料入場者数：　　　0名（うち招待者数：　　　0名） | | |
| 入場料金／参加費 | 有料（有料配信も含む）  （一般）前売　　3000円・当日　　3000円  （学生）前売　　3000円・当日　　3000円  （配信チケット）　　1500円  （未就学児）　　　　　0円 | | 無料 |
| 本市からの過去の  交付決定状況  （直近3回分） | 該当年度 | 事　業　名 | 交付決定金額 |
| 令和４年度 | Nuevo Concierto Diario Vol.11  (AFF・大阪文化芸術創出事業) | 70,000円 |
| 令和４年度 | Nuevo Concierto Diario Vol.12  (AFF・大阪文化芸術創出事業) | 70.000円 |
| 令和４年度 | Nuevo Concierto Diario Vol.15  (AFF・大阪文化芸術創出事業) | 70,000円 |
| 過去に大阪市からの交付決定を受けたことはない | | |

**以下、写真・図画挿入自由。スペースが足りない場合は枠を調整いただくか、別途資料等を添付ください。**

**ただし、次の１～６の項目についてはチラシや企画書等を添付するのではなく、本書の枠内に記載してください。**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １．事業目的 | 当社ではコロナウイルスの蔓延により文化活動が停止した直後より、パンデミックなどの社会不安に強い文化活動を形成するため、有観客にオンラインを交えた有料のハイブリッド型公演「新しい日常に送るコンサート（Nuevo Concierto Diario）」を企画。緊急事態宣言発出時も発信を続け、2024’１月には「2024’JAPAN Month!!」として16～19を実施。  今回は記念すべき20回目の公演となる。  洋舞のコンサートは規模、企画数ともに首都圏が一強であり、担い手流出も止まらないのが現状である。オンラインを活用したコンサートという強みを活かし、そういった市場に対し、大阪の文化「フラメンコの殿堂、十三、アルディエンテ」としての確固たる印象定着にも着手。  様々な地域からトップアーティストを招致参加させると共に、主として大阪を本拠地として活動するアーティストを経験年数にもよらず可能な限り多様に同時キャストし、大阪で活動するアーティストと、また大阪に集結した大阪発の文化芸術を発信してきた。  「文化庁Art of the future」や「大阪文化芸術創出事業」などの補助も受けながら音楽、特に洋舞において環境変動に強い文化構築に努めてきたが、新型コロナの蔓延も収束を見せ始め、アフターコロナを見据えた新しい事業形態にチャレンジする中、本助成に踏み切った。   |  |  | | --- | --- | | コロナウィルスの蔓延をきっかけに、文化発信の機会創出と、担い手の雇用促進のため多くのライブを全国で企画。  知名度の向上とともに配信技術の研鑽を行い、多くの顧客獲得に努めた。 |  | | シリーズ１３。  AFFや大阪文化創出事業などの助成の効果もあり、他に類を見ない公演内容で積極的にシリーズを展開。  大阪を土壌に活躍するアーティスト達が、大阪のフラメンコ拠点「アルディエンテ」で全国のアーティスト達とコラボレートする内容は話題を集め、一般にも普及。  全国からも観客が集まるようになる。 |  | | シリーズ１５。  シリーズは毎回満員を記録する。今回の「Fiesta!!」も客数制限いっぱいの入場と多数の配信を見込んでいる。  この企画は多地域からトップアーティストを招集することによる話題性を利用した事業で、助成を受けられることによる恩恵が多い。  そのため記念公園として次の自立可能・持続可能な企画への、より大きな足がかりとするため申請に踏み切った。 |  |   今回は、より多様にアーティストを招致する。内容もより連携され、下記の新しい取り組みを実施。  話題性をもってより多くの観客に対して発信される。   1. 最大のイベントとしてアーティストによる大群舞を計画。大阪の様々な派閥より招致がおこなわれた群舞に、様々な地域から集まったアーティストが絡み合い共演する「大阪発」の全国的作品。ジャンルや流派に関わらず総合的な角度から音楽をプロデュースする当社にしか実現できない内容のコラボレーション演目を企画、発信する。 2. 友好団体とのタイアップイベントを実施。招集したトップアーティストのワークショップを行う。新しいビジネスモデルへの転換と、このコンサートの新しい持続可能性を模索。 3. 次期コンサートに向け、アカウント（有観客数やSNSでの反応や動画の瞬間視聴数）集計を行い「ガラコンサート」を企画。次期の企画まで繋がる取り組みとする。 |
| ２．事業内容詳細  ※主な出演者、主なスタッフ、作品や公演等の内容を記載してください。  ※アーカイブ制作の場合は、構成、制作媒体、公開方法、公開にあたり課金する場合はその金額、制作に携わるスタッフ等を記載してください。 | 主な出演者  　大阪を本拠地として活動するダンサー７名（大阪）  　※地域性を損なわないため７割を大阪拠点のアーティストとしている。  　ゲスト：石川慶子（名古屋）  　バックアーティスト：LA MOEKO（福岡）・彌月大治（大阪）  会場：アルディエンテ  舞台・照明・音響：株式会社K’s ON  企画・監修：プラスミュージックCo,.Ltd.  作品内容  大阪発！コロナ禍より「新しい日常に発信するコンサート」と銘打ち、有観客と配信のハイブリッド型コンサートとして立ち上がった”Nuevo Conciert Diario”。  社会情勢も落ち着きを取り戻し、復興の兆しも見えてきた中、２０回目を迎えた今回のテーマは「Fiesta!!」祭典。より良い大阪文化芸術の創出を目指し、オールメンバーによる作品、アカウントによる人気集計、タイアップ企画など、十三アルディエンテメンバーによる企画が目白押しです。詳しくはパンフレットまたはHPをご覧ください。 |
| ３．広報手法  ※事業の実施にあたり、広報計画について記入してください。  ホームページやＳＮＳを利用する場合は、ＵＲＬやＳＮＳアカウントを記入してください。 | ホームページ・ブログ  （ＵＲＬ：https://www.studio-alsur.com/event/）  （ＵＲＬ：https://plus-music-shinsaibashi.com/category/news/）  （ＵＲＬ：https://teket.jp/g/rkrqpw9r6x）  ポスター・チラシ  （発行予定部数：ポスター20部、チラシ1500部　）  DM  （発送予定数：500枚）  ＳＮＳ（facebook、twitterなど）  （ＳＮＳアカウント： プラスミュージックCo.,Ltd　彌月大治　他、各出演者）  その他  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ４．申請する事業のＰＲ点  ※本欄は、特別助成申請の場合のみ記入してください。  事業報告書に、ここに記載したことの達成度についても記入していただきます。 | ①活動の内容（チェックを入れてください）  大阪文化力向上支援  （審査基準：大阪の魅力を広く発信でき、新たな鑑賞者・参加者の創出に結びつく工夫のあるもの）  上方古典芸能普及発展支援  （審査基準：上方古典芸能の理解を促進し、新しい観客を増やすことにつながる工夫があるもの）  多様な人々が参加できる芸術活動支援  （審査基準：多様な人々を取り巻く問題について明確にし、多様な人々と芸術文化をつなぐ新たな手法やしくみをつくる工夫があること） |
| ②　①の活動の内容の審査基準に留意して、**具体的なＰＲ点**を記載してください。  大阪を活動拠点とした実力派メンバーを中心にしつつ、他各地からも個性あるアーティストを招集、流派や地域を越えた大規模な合同作品の発表も行う。大阪フラメンコの中心地「十三アルディエンテ」ならではの演目である。【効果性】。  また今までなかったアーティストや組み合わせのキャストも積極的に行う。更に今回はアカウント（有観客数やSNSでの反応や動画の瞬間視聴数）集計を行い、「ガラコンサート」を企画。周知させることで、より話題性と拡散力を強化。【創造・新規性】 。  更に新規団体とのタイアップ企画にも挑戦【発展性】 。  当シリーズ(Nuevo Concierto Diario)だけで延べ150人以上のキャスティングと演出を行っており。数多く継続し行った企画は高いクオリティーを担保する【良質性】  。  固定ファンも多く、ファイナルと謳う当公演で相当数の集客を見込むと同時に、新規顧客を確保、新しい企画への足がかりにし、より質の高い大阪発の事業へ発展させる事を目標とするものである【参加・普及性】 。  **大阪を拠点とし活動するアーティストと、そして大阪で創出された全国規模の作品を「大阪の魅力」として全国に発信。**   |  |  | | --- | --- | | **・積み上げてきた実績**  **・フィエスタと謳う話題性**  **・新しく挑戦する様々な企画**  **その話題性と拡散力で全国から新たな鑑賞者を呼び込み、更に積極的により沢山のアーティストを巻き込む事業へ昇華させる。** |  | |
| ５．助成金を受けることにより期待できる効果  事業報告書に、ここに記載したことの達成度についても記入していただきます。 | 1. 助成金を受けられることにより、会場舞台費の費用を招集するアーティスト回すことができ、より高い質と多様性を持たせることができる。   ・助成申請前の検討キャスト  ダンサー：前岩里佳・福井千賀子・橋爪潤子・山本素子・妻木郁子（大阪）下谷内奈緒（石川）前田芙美子（三重）増味麻子（名古屋）  歌：西田裕加（大阪）  ギター：彌月大治（大阪）  約７割を大阪のメンバーとすることを指標にキャストを行っているが、メンバーが限定され、今後の新しい企画に繋げるための話題性・発信力の減少が危惧される。  ・助成決定後のキャスト  ■県外キャスト  ダンサー：石川慶子（名古屋）  歌：LA MOEKO（福岡）  　※いずれも日本フラメンコ協会新人公演奨励賞受賞  ■県内キャスト  大阪を本拠地として活動する受賞歴者、多数のダンサー  ギター：彌月大治（大阪）  　※日本ギターコンクール金賞受賞  話題性・集客性なども充分なメンバーとなる。招集する地域も幅広い。   1. 注目度の上昇による、タイアップ企画や次期事業と連携した取り組み（ガラコンサート）の効果上昇。 2. 専属オペレーターによる音響・照明、専門業者による配信により、より質の高い発信が行える。   継続してきた企画を更に大阪の文化力向上に役立てるべく、そして次事業への確固たる足掛かりとすべく、当助成金の申請を行った。 |
| ６．近年の主な活動実績  ※過去５年間程度の実績について記入いただくか、別途資料を添付してください。 | 有観客と配信のハイブリッドコンサート  Nuevo Consierto Diario Vol.1～16   |  |  |  | | --- | --- | --- | |  |  |  | |  |  |  | |  |  |  | |  |  |  | |  |  |  |   コロナ禍における無観客配信コンサート  en linea en vivo Vol.1～5   |  |  |  | | --- | --- | --- | | phonto.JPG |  |  | |  |  |  |   創立３６周年記念コンサート   |  |  |  | | --- | --- | --- | |  |  |  |   他、年間３０以上のコンサートやイベントを企画・実施している。 |

**申請書添付書類について**

次の各欄にチェックまたは必要事項を記載した上で、所定の資料を添付してください。

１．団体の規約・名簿　【※必須書類】

　ある：最新の情報に更新したものを提出してください。

　ない：次の各欄にチェックまたは必要事項を記載し、プロフィールや活動実績（Ａ４サイズ１枚程度）を提出するか、実施計画書「６．近年の主な活動実績」欄に詳しく記載してください。

[①理由　　　　個人での活動のため。　　　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　）]

[②提出資料　　プロフィールや活動実績　　実施計画書６．近年の主な活動実績に記載済　]

２．過去の活動が分かる資料や新聞記事等を添付することが可能です。

※紙媒体のみとし、返却はできませんので貴重な書類の場合は現物ではなく写しを提出してください。

※ウェブサイト等の場合でも特にPRしたい箇所を出力した上で提出するものとし、CDやDVDでの提出

はできません。

　提出する　※Ａ４サイズ６枚程度の分量を想定しています。

　提出しない　※事業の詳細やPRすべき点を実施計画書に十分に記載している場合は追加提出不要です。

３．交付決定を受けた場合、事業の進捗状況や成果等の確認のため、実施事業の視察に伺い、担当者より成果等の報告等をお願いする場合あります。そのため、視察用の席の確保、報告の時間をいただくことにご協力ください。（視察を行う際は、予め担当者あて連絡いたします。）

了承しました。

４．申請書類に関する問い合わせ先

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 担当者氏名 | 稲岡大治 | 連絡先電話番号 | ０９０－１１３２－２０４７ |
| 連絡先メールアドレス | mitsuki@plus-music.jp | | |
| 連絡先住所 | 〒５３２－０００１  大阪市淀川区十八条１－１－３２－５０８ | | |
| 上記以外の連絡先 | （氏名）森田佳代 | （電話番号）０８０－５３５１－１２６４ | |
| 連絡先メールアドレス | morita@plus-music.jp | | |